

こころから始まる

ものごとは心から始まります。鳥獣も、山林も、人類も、こうありたいという心によって今の形になっています。鳥は空を飛びたいという心で翼が生え、魚は海で泳ぎたいという心で尾びれが発達し、樹木は山野に立ちたいという心で根を張り、人間は大地を歩きたいという心で立ちあがりました。

崖っぷちで生きる鹿は、崖から転落しないように足の踵かかとにヒヅメが生えています。野の鹿にはない特注のヒヅメです。こうありたいという意思が起きて体形が変容していきます。遺伝子によって久遠の経験や意思を統合して姿形が創られていきます。

心は瞬間に走ります。嫌な人と話をするときは警戒心があり、好きな人とお喋りをしているときは心が開いています。あらゆる生き物はこのような判断を瞬時にしないながら今を生きています。

必要は発明の母です。不便を感じることから思案が始まります。社会の風習や規則、革新も発明です。もしも苦しみを感じれば、その原因を深く洞察することです。そうすれば悩みの解決方法が見えてきます。

苦しみは新しいものごとが始まる兆しです。いつまでも悲観することはありません。災害、事故、障害、事件など、受け止める心によって生き方が様々に変わります。

宇宙はさまたげがありません。星と星は互いに関連しあって運行しています。意思と肉体も密接につながった小宇宙です。健康の健は肉体、康は心の状態をあらわした漢字です。心身が一致していれば健康、崩れれば不健康になります。

「宇宙全体は、さまたげがなく、お互いに関連し、しかも離れていません。心身が正しく一致すれば仏が現れます。仏と仏が照らしあっている状態が即身成仏です」と、お大師さまは真言密教の奥義を述べておられます。

× × × × ×

おせがき法要 8月20日(火) 10時~15時 金龍寺本堂にて

『空海散歩』第三巻「たすけあい」

著者67名渾身の空海名言法話192話を読むことができます。

申込先/金龍寺・書店・筑摩書房/定価2,200円+税